

次期ふくしま創生総合戦略の策定に向けて

1 策定の趣旨

- 「ふくしま創生総合戦略」（平成 27 年 12 月策定）は、「福島県人口ビジョン」（平成 27 年 11 月策定）で描く本県の目指すべき将来の姿に向けた、今後の施策の方向性を示す計画。
 - ※ 「まち・ひと・しごと・創生法」第 9 条の規定に基づき、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案して策定するもの。
- 人口減少等の構造的な課題解決には息の長い取組が必要であり、地方創生の充実・強化に向け、切れ目無い取組を進めることが必要。
- 現行戦略の成果・課題を踏まえ、本県の地方創生を更に進化させるための計画として策定する。

2 計画の期間

5 年間（令和 2 年度～令和 6 年度）

※ 国の「まち・ひと・しごと創生基本方針」の始期・終期と合わせることにする。

3 位置付け

県の最上位計画であり、県政の運営指針となる「福島県総合計画」との整合を十分に図り、しごとを創り、ひとの好循環を生み出し、人口減少に歯止めをかける「地方創生」関連施策に特化した実行計画（アクションプラン）とする。

※ 別紙 1 のとおり

4 策定にあたっての基本的な考え方について

- (1) 人口減少が継続する厳しい現状に危機意識を持ち、構造的な人口問題に果敢に挑戦するための計画とする。
- (2) 現行戦略に掲げる 4 つの基本目標
 - ①しごとづくり
 - ②ひとの流れづくり
 - ③結婚・出産・子育て支援
 - ④まちづくり
 の枠組みを原則として維持しつつ、本県が持つ可能性、魅力、強みをいかした、福島ならではの地方創生の取組を積極的に展開する計画とする。
- (3) 県民、市町村、企業、大学・研究機関、民間団体など（いわゆる産官学金労言士）の多様な主体がそれぞれの強みを発揮し、目指すべき将来の姿の実現に向けて、相互に連携・共働する計画とする。

5 現行戦略の検証について

次期戦略の策定に当たっては、現行戦略の成果・課題を踏まえて進めていく必要。

(1) 現行戦略の成果目標等の達成状況について

- ・ 「雇用・起業創出」、「農林水産業しごとづくり」、「観光コンテンツ創出」、に係るプロジェクトについては、成果目標の達成状況が概ね良好であった。

(主な成果目標) 安定的な雇用者数 H30 580,450 人 (達成率 107.1%)

観光客入込数 H29 54,494 千人 (達成率 89.0%)

- ・ 「定住・二地域居住推進」、「切れ目のない結婚・出産・子育て支援」、「若者の定着・還流」に係るプロジェクトにおいては、重要業績評価指標 (KPI) が達成されたものの、成果目標が戦略策定時の値を下回った。

(主な成果目標) 合計特殊出生率 H30 1.53 (H26 1.58)

人口の社会増減 H30 ▲7,841 人 (H26 ▲2,211 人)

(2) 成果目標・KPI の検証について

一部の成果目標等について、評価対象となる統計データの更新時期・頻度を考慮すると、毎年度の施策の効果検証には適さない指標が設定されている事例が見られた。

(データの公表が翌々年度となっていたもの) 商業・サービス業の総生産額
農業産出額

(データの公表が数年に一度のもの) 健康寿命

6 次期戦略策定において留意すべき重要な視点

- ひと、資金の流れの強化
 - ・ 関係人口の拡大
 - ・ 寄附、投資等を促す仕組みづくり
- SDGs (持続可能な開発目標) の考え方との整合
- Society5.0 (第5の新たな社会) への対応
- 地方創生の基盤を支える人材の掘り起こし・育成 (高校における地域教育等)
- 健康まちづくりの推進
- 様々な人がつながり、支え合うコミュニティの形成 (女性、障がい者、高齢者、外国人等)

など